

# 在沖繩 米軍の性的暴行発覚

# 米兵犯罪根絶を!

沖縄で昨年以降、米兵による5件の性的暴行事件が起きていたことが発覚しました。外務省や県警はいずれも県に報告していませんでした。辺野古の基地建設や6月の県議選への影響を避けるための意図的な隠ぺいだった疑いはぬぐえません。

米兵の性犯罪の元凶は、日常的に殺人訓練をくり返し、日米地位協定によって特権を与えられている米軍基地の存在です。米兵犯罪根絶のため、政府は尽力すべきです。



## 私たちの尊厳奪うな

沖縄の女性は、いつまで米兵の餌食にされるのですか。私たちは沖縄で、尊厳ある一人として生きています。私たちの尊厳を奪う米兵のいる基地の撤去を、日本政府からアメリカに求めてください。これ以上我慢できません。(名護市民の訴え)

辺野古  
新基地  
NO!



辺野古新基地建設工事中止と普天間基地撤去を求める署名にあなたも!

## 埋立に7万本のくい打ち込み

岸田政権は、地方自治体の権限を奪う「代執行」という強権的な方法で、沖縄県名護市の辺野古・大浦湾の豊かな海を埋め立て、新たな米軍基地を建設しようとしています。大浦湾の軟弱地盤を固めるため約7万本のくいを海底に打ち込む計画で、8月に計画している本格工事を前に、くい打ち試験を開始しました。県は工事の中断を求めています。

## 普天間基地は無条件撤去を

辺野古の新基地は「世界一危険」と言われる宜野湾市・普天間基地の「代替施設」とされています。しかし住宅密集地の普天間基地周辺で、米軍機の危険な飛行を政府は放置しています。新基地は耐用年数100年、普天間基地にない機能を加え、事故を繰り返すオスプレイを有事には100機展開する、巨大要塞化計画です。普天間基地の危険性除去は運用停止と撤去でこそ実現できます。

日本平和委員会

2024年7月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです  
「平和新聞」(旬刊)、「平和運動」(月刊) 発行中

<http://j-peace.org/> (t) (f)

